

フジサンケイ Business I

三菱地所、最新照明・空調オフィス 省エネ制御を実証実験

2009/10/6

三菱地所は5日、最新の照明、空調機器を複合導入し執務空間の快適性と省エネルギー性を評価する「次世代低炭素型技術実証オフィス」を新丸ビル(東京都千代田区)内に設置したと発表した。個別調節が可能な床吹き出し空調や自然光を取り入れ日射熱を約85%遮る「高性能窓システム」などと組み合わせ最適化制御を行う。1年間の実証実験で効果の確認や改善を進め、今後のオフィスビル開発に反映していく。

大手町、丸の内、有楽町地区のまちづくりにおける環境戦略拠点として2007年5月に開設した「エコツツエリア」施設内のオフィス部分をリニューアル、就業者が最も快適と感じる照明の照度、色温度を机上のパソコンと照度計で個別に設定、調節する「知的照明システム」と、熱が物体を介さずに高い温度から低い温度に移行する性質を利用した「輻射空調システム」を設置した。両システムを融合したオフィスは世界初。

LED(発光ダイオード)を使った「知的照明システム」は、仕事の内容などに応じて照度と色温度を使い分けることで、オフィスの快適度や業務効率の向上、目の疲労の軽減効果などが期待できる。一方「輻射空調システム」は、体感温度に働きかける効果が高く、冷暖房時に省エネ温度設定にしても実際の温度より快適に感じるメリットがある。